

ＴＩＣＡＤ閣僚会合 セッション３「社会」、「平和と安定」

２０２２年３月２７日

鈴木貴子外務副大臣スピーチ

ＴＩＣＡＤ閣僚会合２日目の本日は、２つのテーマ、「社会」及び「平和と安定」について議論します。昨日に続き議長を務めさせていただきます。本日のテーマにつき、まず私から発言させていただきます。

まず、社会について申し上げます。

新型コロナは、世界が抱える脆弱性を浮き彫りにしました。感染症の拡大や気候変動問題など国境を越える地球規模課題の解決には、人間の安全保障の理念の下、国際的な連帯がこれまで以上に求められています。これを踏まえ、先月、ＵＮＤＰは、「保護」と「能力強化」に加えて「連帯」を３つめの柱とする、新たな人間の安全保障のアプローチを提唱しました。

日本は、「誰一人取り残さない」ことを目的とするＵＨＣの達成を念頭に、アフリカへのワクチン供与や接種体制強化への支援、ＣＯＶＡＸファシリティへの資金協力などを実施し、アフリカにおける新型コロナ対策に取り組んでいます。併せて、ワクチンの有効性を伝え、一人でも多くの方があまねく接種していただけるよう、日本のこれまでの経験や知見の共有にも取り組んできました。こういった様々な課題への支援を継続し、日本は新型コロナの克服を後押ししてまいります。

持続可能な発展のためには、「人」への投資や環境分野での取組も欠かせません。日本は、これからの時代をリードする若者や女性を始めとする人々が、それぞれの場所で自ら望むような形で活躍できるよう、人材育成に力を入れてまいりました。環境分野においても、防災を含む気候変動対策、森林・海洋環境・生態系保全等を重視し、支援を実施してきています。

次に平和と安定について申し上げます。

持続可能な平和と安定なくして、アフリカの更なる発展はあり得ません。地域の安定には、紛争・テロ等の根本原因への対処が欠かせません。日本は、「アフリカの平和と安定に向けた新しいアプローチ（ＮＡＰＳＡ）」の理念の下、アフリカ自身の取組を後押しし、国連とも連携しつつＰＫＯ要員の能力構築支援を実施しています。また、民主主義の定着は、国や地方の統治に広く国民が参加することにより、地域の中長期的な安定をもたらします。日本は、アフリカ自身が取

り組む民主主義の定着及び法の支配の推進に向けた努力を、透明性を確保した選挙の実施、制度構築、ガバナンスの強化等を支援することにより後押ししていく考えです。

持続可能な平和と安定を実現するためには、国連憲章や基本的人権など、国際社会がよって立つ原則を遵守することが不可欠です。今般のロシアによるウクライナ侵略は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の重大な違反であるとともに、力による一方的な現状変更を認めないとの国際秩序の根幹を揺るがすものです。国際社会からの強い非難にもかかわらず、ロシアがウクライナへの侵略を拡大し続けていることは、断じて容認できません。これは、欧州だけの問題ではなく、アフリカを含む国際社会全体の問題です。国際社会として一致してこの事態に対応していくことが重要です。

本日は、アフリカでの強靱かつ持続可能な社会の構築のために国際社会が果たすべき役割、アフリカの平和と安定を実現するための教訓について、皆様のご意見を期待をしています。

ご静聴ありがとうございました。